

基礎分野

[基礎分野の考え方]

基礎分野は、「豊かな教養と感性を備えた人間性の育成」と「看護を学ぶ上で必要な内容」を目的として科目設定をした。看護者に相応しい人間性の陶冶に向けて、専門分野の学習を進め、経験知を蓄積していくために、本基礎分野においては、豊かな感性と洞察力、思考力を育てることを意図した科目を選択し、1年次・2年次・3年次全てに設定した。また、看護を学ぶ上で必要な内容という視座からは「科学的思考の基盤」「人間と生活・社会の理解」に向けての力が身につくように科目を設定した。カリキュラム改正にあたり強調されたコミュニケーション能力の育成に向けては、段階的に2科目（1年次「コミュニケーション論」・3年次「社会技能論」）を新設科目とした。また、コミュニケーションの基礎となる表現力の育成に向け、従来の「文学」を「国語表現」に科目の変更を行った。

[目的]

幅広い教養と感性を培い、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性の育成を目指す。また看護の対象である人間を洞察、理解する力を養い、専門職業人として問題解決能力を高めていくために必要な力を養う。

[目標]

1. 生命の尊厳や倫理を学び、看護の対象である人間を理解する力を養う。
2. 人間を生活者としてとらえ、その環境である社会のしくみやその変化など社会的な視野を広げる力を養う。
3. 他者との関わりをとおして、自己・他者理解を深めていくためのコミュニケーション能力を養う。
4. 専門職業人として主体的に他者と関わり、成長していくためのコミュニケーション能力を養う。
5. 専門職業人として、自律的、主体的に行動していくための判断力・思考力を養う。
6. 社会の動向に目を向け、国際化、情報化社会に対応できる能力を養う。